

トラスト・テック
2018年6月期
第1四半期決算 補足説明資料

2017/11/10

株式会社 トラスト・テック

■ 第1四半期での売上高は想定通りの進捗

- 技術系領域を主軸に売上高は順調に前年同期比+16.6%増の増収
- '17年3月に子会社化したフュージョンアイ(IT領域の派遣・請負)の業績が寄与

■ 営業利益は、前年同期比で約2倍に増加

- 技術系、製造系、海外と各セグメントで増益を達成
- 前期にM&A費用関連を計上したこともあり営業利益は、前年同期比+94.4%の増益

2018年6月期（第14期） 第1四半期決算 連結決算の概要

- '17年3月に子会社化したフュージョンアイ(IT領域の派遣・請負)の業績寄与もあり技術系領域で大幅な増収
- 各セグメントでの増益に加え、前期にM&A費用関連を計上したこともあり約2倍の増益

単位：百万円

	2017年6月期 第1四半期		2018年6月期 第1四半期			
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前年同期比
売上高	10,274	100.0%	11,977	100.0%	+1,703	+16.6%
営業利益	498	4.8%	968	8.1%	+470	+94.4%
のれん償却等調整利益(※1)	792	7.7%	1,080	9.0%	+288	+36.4%
経常利益	474	4.6%	978	8.2%	+503	+106.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	212	2.1%	612	5.1%	+400	+188.2%
1株当たり 四半期純利益	10.98円	-	31.54円	-	-	-
技術・技能社員数(※2)	7,882名		9,642名		+1,760名	+22.3%

※1 のれん償却等調整利益 = 営業利益 + のれん償却 + 買収一時費用。

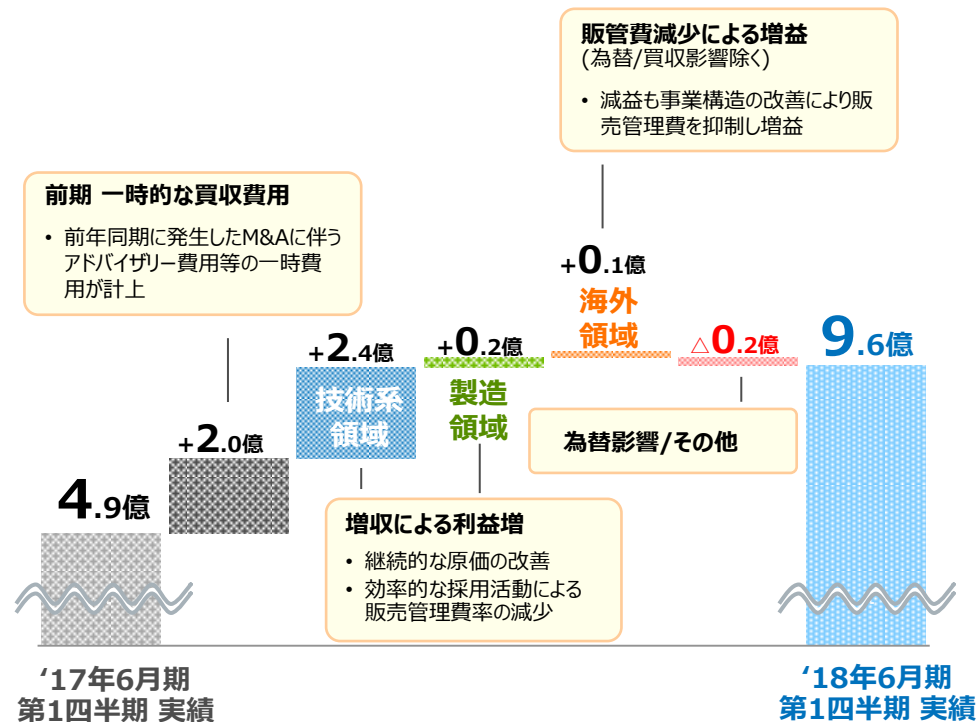
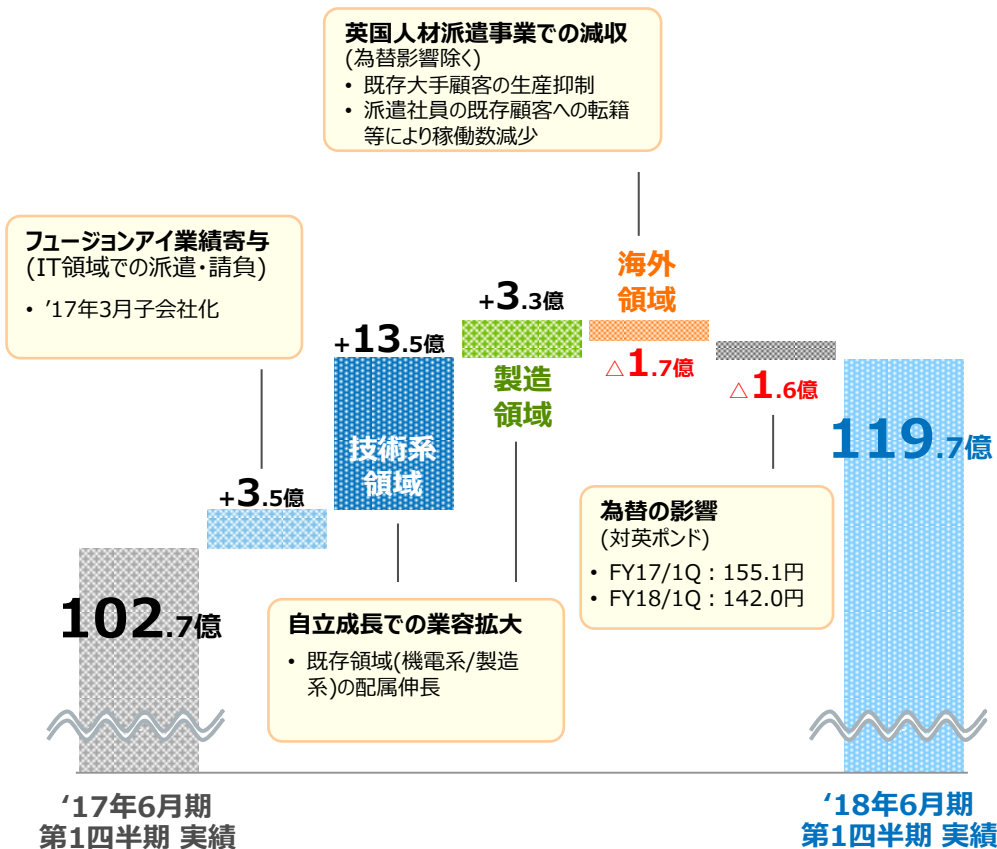
※2 四半期末時点における国内外の技術・技能社員数を記載しております。

単位：百万円

単位：百万円

売上高	2018年6月期 第1四半期	対前年同期増減	対前年同期比
	11,977	+1,703	+16.6%

営業利益	2018年6月期 第1四半期	対前年同期増減	対前年同期比
	968	+470	+94.4%



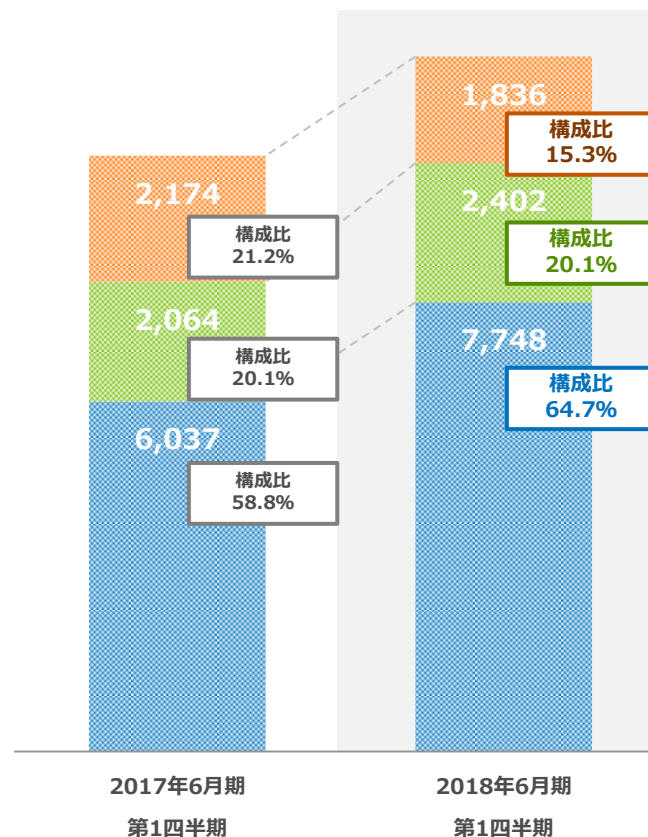
- 技術系領域：機電系領域と注力分野であるIT系領域において社員配属数が順調に増加
- 海外領域：為替の影響と既存大手顧客の生産調整により減収

事業セグメント別 売上高

単位：百万円

	2017年6月期 第1四半期	2018年6月期 第1四半期		
	実績	実績	増減額	前年同期比
技術系領域	6,037	7,748	+1,710	+28.3%
製造系領域	2,064	2,402	+338	+16.4%
海外領域	2,174	1,836	△337	△15.5%
その他	16	13	△3	△22.4%
調整	△19	△23	△3	-
合計	10,274	11,977	+1,703	+16.6%

■ 技術系領域 ■ 製造系領域 ■ 海外領域



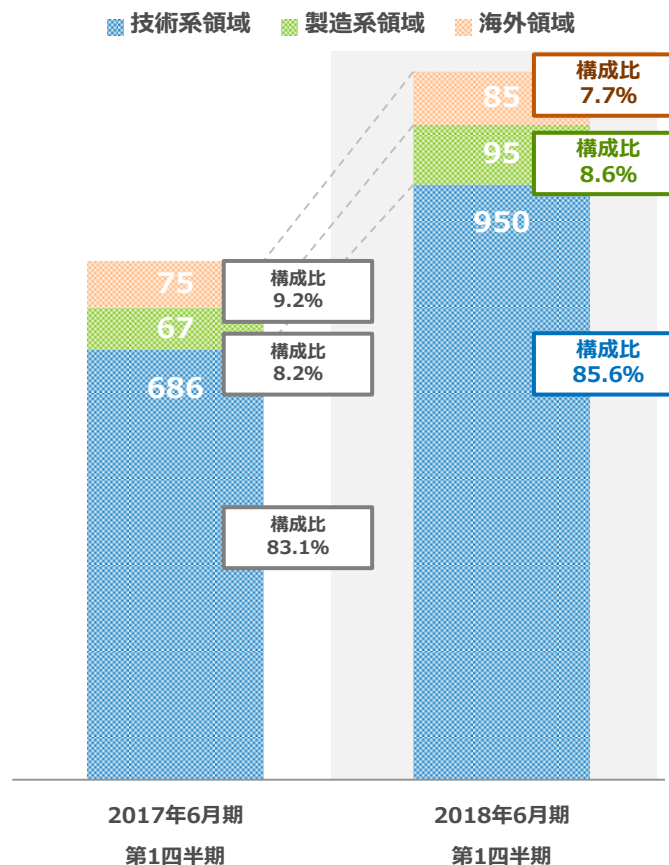
■ 技術系領域：エンジニアの希望が強い地元(自宅通勤圏)への配属を促進したコスト改善

事業セグメント別 EBITDA(※1)

単位：百万円

	2017年6月期 第1四半期		2018年6月期 第1四半期	
	実績	実績	増減額	前年同期比
技術系領域	686 (11.4%)	950 (12.3%)	+264 (+0.9p)	+38.5%
製造系領域	67 (3.3%)	95 (4.0%)	+27 (+0.7p)	+40.8%
海外領域	75 (3.5%)	85 (4.6%)	+9 (+1.2p)	+12.7%
その他	△13	△27	△13	—
調整	9	6	△3	△30.3%
合計	826 (8.0%)	1,110 (9.3%)	+284 (+1.2p)	+34.4%

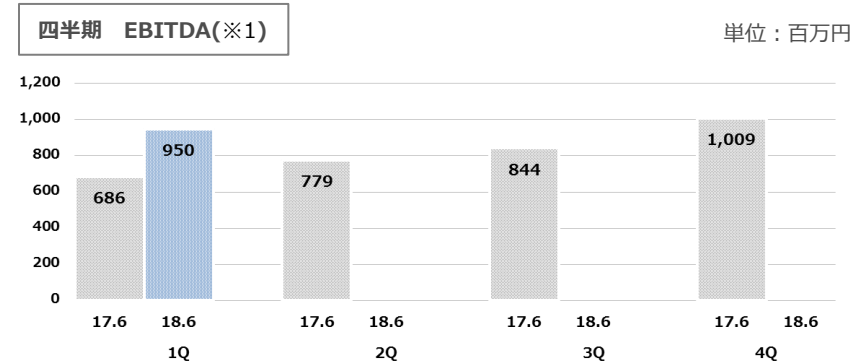
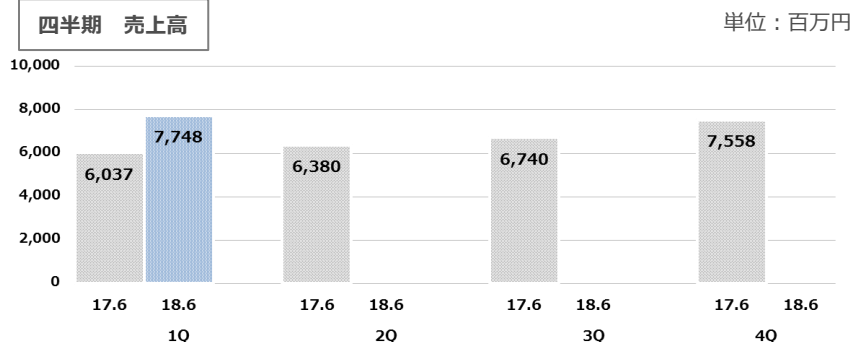
※1 セグメント別EBITDA=セグメント利益(営業利益)+のれん償却+減価償却費+買収一時費用



- 輸送用機器、電気機器領域に加え、注力分野であるIT系領域でも社員配属数が伸長
- IT・ソフト領域での更なる事業拡大に向け、事業を統合し成長力を加速

単位：百万円	2018年6月期 第1四半期	対前年同期増減	対前年同期比
売上高	7,748	+1,710	+28.3%
EBITDA	950 (12.3%)	+264 (+0.9pt)	+38.5%
技術社員数	4,415	+1,029	+30.4%

※1 EBITDA=セグメント利益（営業利益）+のれん償却+減価償却費+買収一時費用



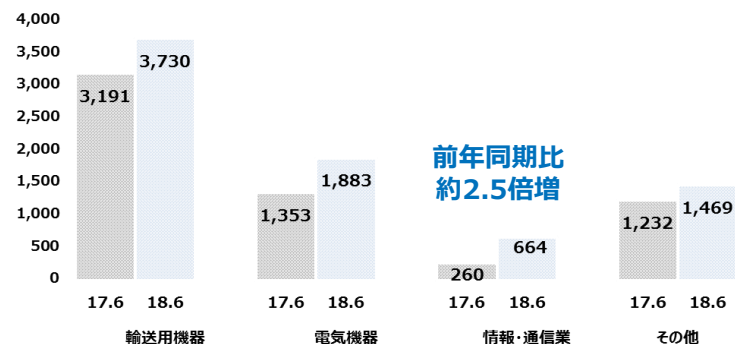
2018年6月期 第1四半期

■ 機電領域に加え、注力分野であるIT・ソフト領域が伸長

- ・'17年3月に子会社化したフュージョンアイの業績寄与

2018年6月期 第1四半期 取引先業種別売上高

単位：百万円



■ 当社が展開するIT・ソフト領域での派遣・請負事業を集約

- ・当社のIT領域をフュージョンアイに事業継承
- ・'18年1月に(株)トラスト・アイパワーズに商号を変更

株式会社

トラスト・アイパワーズ

IT系領域での競争力強化を図り更なる成長を促進

TRUST TECH
テクニカル
ソリューション事業部

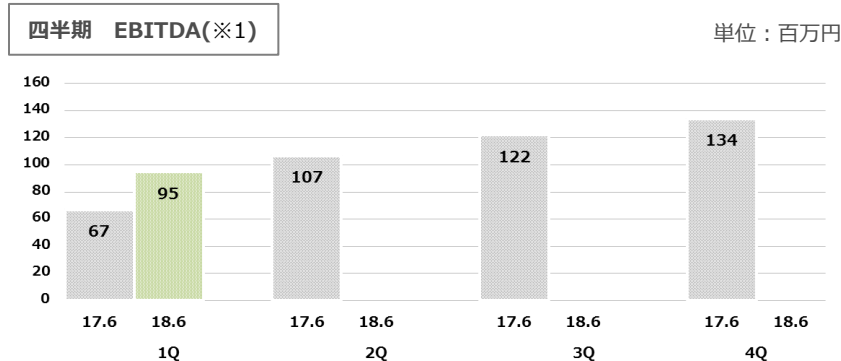
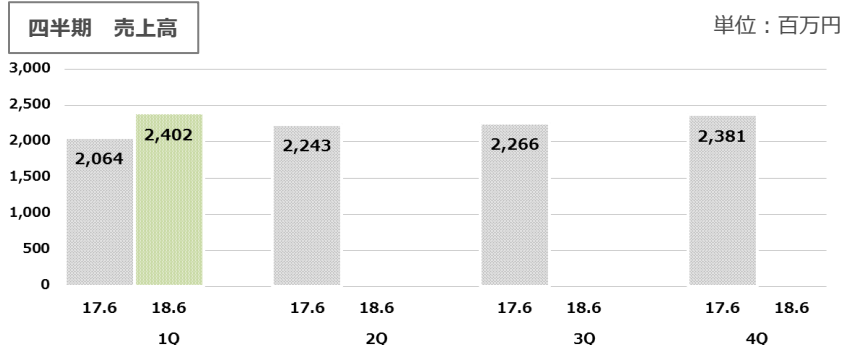


fusioni
フュージョンアイ

- エリア深堀により採用・配属・営業活動の効率が改善し、四半期毎に利益率が着実に向上
- 大幅な増益と業界でトップクラスの利益率を達成

単位：百万円	2018年6月期 第1四半期	対前年同期増減	対前年同期比
売上高	2,402	+338	+16.4%
EBITDA	95 (4.0%)	+27 (+0.7pt)	+40.8%
技能社員数	2,393	+299	+14.3%

※1 EBITDA=セグメント利益（営業利益）+のれん償却+減価償却費+買収一時費用



2018年6月期 第1四半期

■ 前期より引き続き地域密着型による採用・営業力強化

- 新規求人サイト「ジョブパーク」をオープンし、合わせてリアル店舗を開設により、求職者との接点や認知度が向上しサイト訪問数が増加させ応募の絶対数引き上げを図る

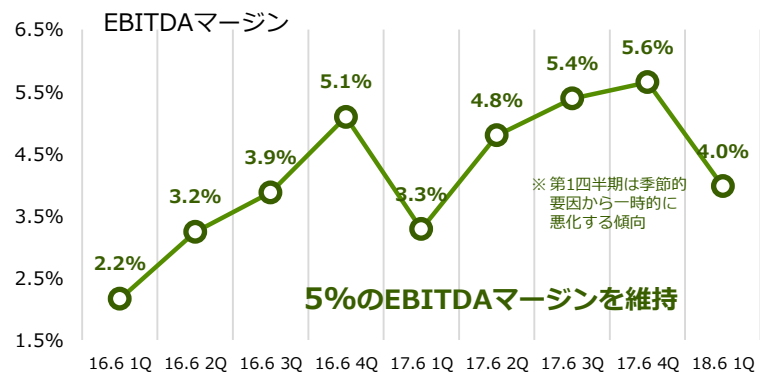


ジョブパーク沖縄 ジョブパーク山形



■ 利益体質の維持強化

- 採用活動の効率化や利益率の高い受注を獲得し、業界トップクラスの利益



- 英国人材派遣事業で主要顧客の生産調整で減収
- 利益面においては、事業構造の改善を行い利益体質は強化

単位：百万円	2018年6月期 第1四半期	対前年同期増減	対前年同期比
売上高	1,836	△337	△15.5%
EBITDA <small>(※1)</small>	85 (4.6%)	+9 (+1.2pt)	+12.7%

※1 EBITDA=セグメント利益(営業利益)+のれん償却+減価償却費+買収一時費用

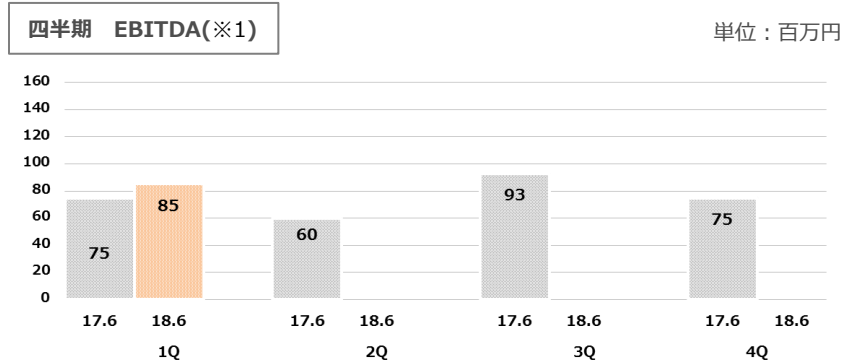
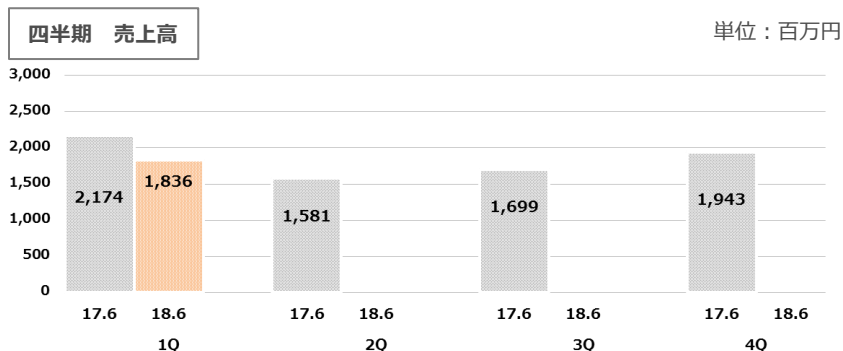
2018年6月期 第1四半期

■ 為替の影響と既存顧客の生産調整で減収

- 前年同期より英ポンド安の影響を受け減収
- 加えて既存大手顧客の生産抑制傾向が続き、在庫調整及び派遣社員の正社員化の影響により減収

■ 販売管理費の適正化による利益体質強化へ

- 子会社化後の企業統治にコストをかけながらも販売管理費を適正にコントロールした結果、利益率は向上



TRUST  **TECH**

免責事項

本資料は、当社の企業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。